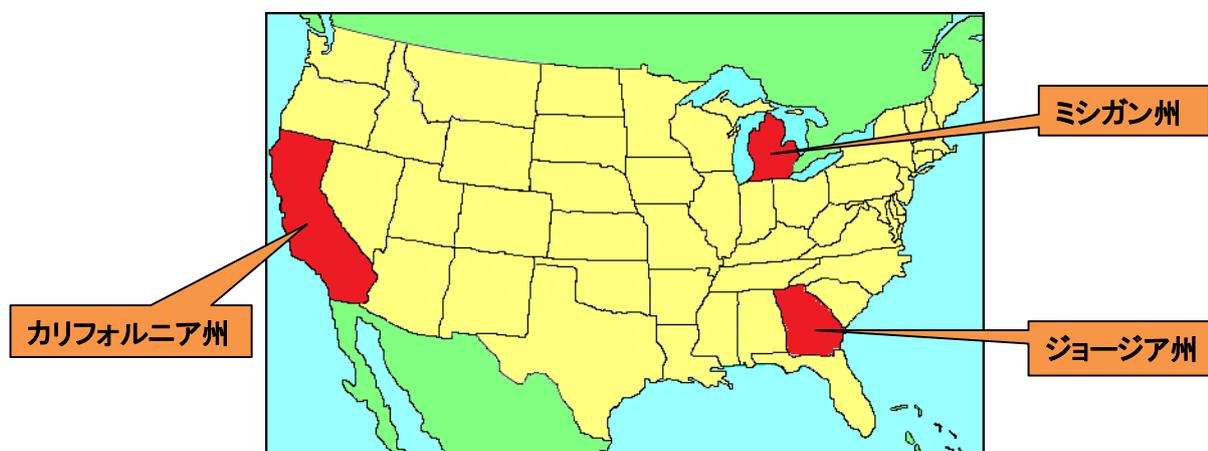


アメリカ合衆国で百日咳が流行

2010年7月22日 ProMeD 情報



(1)カリフォルニア州[Google News, Agencia EFE report]

同州では、百日咳死亡患者5名が3ヵ月以下のラテンアメリカ系の幼児であったことから、百日咳の流行はヒスパニック系の子供に深刻な影響を与えました。同州保健衛生局は、ラテンアメリカ系の住民に対して幼児は生後2ヵ月、4ヵ月、6ヵ月で予防接種を受け、さらに生後15～18ヵ月と、4～6歳の間で追加接種を受けることの重要性を、スペイン語による広告を用いて警告しています。

州保健衛生局は、半年で百日咳患者1,337名を報告しました。これは、100,000名につき3.4名の割合で、昨年より500%の増加でした。

当局の統計では、生後6ヵ月以下の幼児の百日咳の最も高い発症率は、ヒスパニック系の子供では100,000名につき94.2名の割合で、アフリカ系アメリカ人の2倍以上になります。

研究によると、百日咳の子供の半分以上が、両親(特に母親)から感染していました。子供の誕生前または直後の、両親と介護者の百日咳の予防接種は、幼児を百日咳から守るための最も重要な方法です。

(2)ミシガン州[Michigan Public Radio]

米国全域とミシガン州で多数の人々が百日咳にかかっています。この疾患は、罹患した子供がしばしば激しい咳をするので、「百日咳」として知られています。ジェネシーGenesee郡衛生局の疫学者によると、百日咳は、大人から感染することが最も多く、1歳以下の幼児は、予防接種を受けることができないので百日咳にかかり重篤な合併症により死亡することがあります。

2010年はこれまでに、ミシガン州では百日咳患者600名以上が報告されました。昨年は、わずかに278名でした。

(3)ジョージア州[The Examiner, Associated Press (AP) Report, information from WALB-TV]

同州保健局によると、百日咳患者が増加していることから、両親に予防接種を子供たちに受けさせるよう警告しています。また、当局は同州で百日咳患者46名が確定診断されたと報道機関に伝えました。

当局はTift郡、ターナーTurner郡、グラディーGrady郡で、疑い患者の調査を行っています。